

討論のまとめ

事務局長 木口 力

発言は、24人(文書発言1人)で「報告と提案」を豊かにするものでした。

参加者は、20代から80代、北海道から沖縄までの30県99人でした。

発言では、「毎月の宣伝は、28年間欠かさず行ってきた」「全市町村に『10%増税中止・5%に』の手づくり看板を張り出した」など具体的な活動が交流されました。学習・宣伝・署名、会づくり、

総会で選出された常任世話人

(敬称略)

- 井之上成子 上野美知代
- 梅村さえこ 江尻 尚子
- 大嶋 秀夫 さしの知子(新)
- 竹田 捷英 手塚 守夫
- 西本 光男 野田 智美
- 服部 雅 林 幸二
- 藤原 紀嘉 牧野 由子
- 増本 一彦 松田 周平
- 渡辺 清志
- 木口 力(事務局長)

会報読者や会員拡大、団体訪問、議会・議員要請などの活動の経験を学び合いたいと思います。

生活実態では、被災地での生活悪化、

自らの年金額も示し増税や社会保障の負担増の影響が告発されました。

教育や社会保障の財源は「税金の集め方・使い方」を改めれば生み出せることが数字的な裏づけを含めて強調されました。

直面する総選挙は、安倍首相が消費税10%への増税を宣言した中で「会の出番」です。市民と野党共闘の勝利、消費

総選挙、財政確立や後継者づくりを交流

事務局長交流会を開く



総会の翌10月1日、事務局長交流会を開きました。会議では、総会の感想について「総選挙前の総会で意気高い元気の出る発言で勇気づけられた」「初め

税10%中止・消費税廃止の議員 政党を送りだそうとの決意に満ちた発言が続きました。全ての会員と連絡を取り合い、総決起しましょう。

閉会あいさつ

常任世話人



渡辺 清志さん

す。消費税問題が重要な争点です。マスコミはどんな報道をしているかを見ました。解散についての社説を見ますと、だいたい消費税が財政再建や社会

保障にとって必要だというのが多くの共通したものでした。

私たちの国民生活の実態をふまえた要求、主張のような立場のもののみなられません。私の見た限り残念ながらみつめることはできませんでした。

それだけに「なくす会」の運動は先導的で先駆的なものだと思えて感じました。そういう確信を持つことができました。生活に根差したものに、訴えれば訴えるほど共感を広げることができると思っております。全国各地でいつそう奮闘しましょう。

もについて分かりやすく訴える工夫が大事だと強調されました。

県の会の世話人や後継者づくりでは愛知で「ニュース」に世話人募集と書いたら応募者があり、昨日の全国総会にも参加したと発言がありました。また税理士などの専門家、各分野の現役退職者などが活動の担い手になっていくことも紹介されました。

財政の確立では、名刺広告を募っている、「ノー消費税」の還元金、読者にカンパを呼びかけて年間の財政を賄っていることが交流されました。